

1 汗かき阿弥陀..... ◆語り部 すみれ語りの会 渡辺節子さん



◆あらすじ

宇都宮市西原にある一向寺には、ふしぎな霊力がある阿弥陀如来像がある。

昔々、お堂から変な音がするというので住職がかけつけると、阿弥陀様がじっとりと汗をかいているではないか！これは何か悪いことが起きるのではと心配していると…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



2 大豆三粒の金仏..... ◆語り部 かまどの会 柴田ミチ子さん



◆あらすじ

江戸時代の中頃、田川べりで流行り病がおこり、さらに日照り続きで作物が取れないため、泥棒や追い剥ぎなどが横行し、村人たちはすさんだ暮らしを送っていた。人々を救う手立てはないものかと考えた和尚さんは、この地に大仏様を作り、みんなの心をひとつにしようと考えるが…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



3 宝木用水..... ◆語り部 かまどの会 藤田和子さん



◆あらすじ

約350年前、現在の国本地区は「西原」と呼ばれていた。原野だったこの地を開拓するため人が集められ、人びとは毎日血の滲む苦勞をしたが、その暮らしはよくならなかった。時は流れ、真岡で二宮尊徳が水路を作ったと聞いた西原の人は、うちにも作ってくれとお願いするが…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



4 ダイダラボウシ... ◆語り部 野州かたりの会 河原場美喜子さん



◆あらすじ

昔、出羽国（現在の秋田県・山形県）の羽黒山にダイダラボウという雲を突くような大男がいた。ダイダラボウは寝てばかりだが、気が向くと日本各地に出かけては山を作っていた。ある日、雲の上に浮かぶ富士山を見て、今日はあっちに山を作るかと羽黒山のはじっこを担いで歩き出した…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



5 宇都宮城の釣天井… ◆語り部 下野民話の会 有岡光枝さん



◆あらすじ

昔、徳川三代将軍家光の時代、宇都宮に本多正純という文武に秀でた殿様がいた。本多正純は家光の弟、忠長の守り役をしていたことがあり、いつかは忠長を将軍にしたいと思っていた。丁度その時、将軍が日光東照宮への参拝のため宇都宮城に泊まることとなり…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



6 孝子桜 …… ◆語り部 下野民話の会 平野洋子さん



◆あらすじ

昔々、古賀志山の麓に幸助という働き者で心の優しい子どもがいた。父親と二人で暮らしていたが、父親が病気になり、寝たきりになってしまった。冬を向かえようという頃、父親から死ぬ前にもう一度桜の花が見たいと言われた幸助は、毎日毎日、古賀志山の中腹にある大日如来様にお祈りをした…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



7 百目鬼 …… ◆語り部 下野民話の会 丸山ミヨ子さん



◆あらすじ

平安時代、藤原秀郷が宇都宮に来た頃。ある日、老人から村の北西にある馬捨て場で待っていてくれと頼まれ行ってみると、3mもある鬼が現れ死んだ馬を食べ始めた。秀郷が弓で鬼の胸をつらぬくと、鬼は明神山(二荒山神社)まで逃げたところで力尽きた。それから400年後のこと…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



8 黄ぶなの由来 …… ◆語り部 下野民話の会 鈴木和枝さん



◆あらすじ

昔々、宇都宮で天然痘という恐ろしい病気が流行った。次々と人に移っては大勢の人が亡くなったので、かかった人は移さないよう家の中に閉じこもるしかなかった。そのころ宇都宮に住んでいた信心深い漁師の一人息子も天然痘にかかってしまい、漁師が「どうか息子を助けてください」と神様にお願いすると…

詳しくは  
こちらの動画を  
ご覧ください



◆ 9 稚児が坂 ..... ◆ 語り部 下野民話の会 有岡光枝さん



◆ あらすじ

昔々、鎌倉幕府ができたころ、伊沢家景という武将が奥州奉行をおおせつかり、妻子と大勢の家来を連れて鎌倉から奥州（陸奥国：現在の宮城県、岩手県、青森県）へ向かう。宇都宮まで来た時、さっきまで元気だった息子、菊丸が急に熱を出して苦しみ出し…

詳しくはこちらの動画を  
ご覧ください



◆ 10 あざ地蔵 ..... ◆ 語り部 下野民話の会 平野多美子さん



◆ あらすじ

昔々、徳次郎の村に気立てが良くて顔立ちのいい娘がいた。ただ娘には顔に大きなアザがあり、小さい頃は明るく元気に外で遊んでいたが、年頃になると家の中に閉じこもるようになった。不憫に思った母親が、毎日毎日お地蔵様に娘のアザをとってくださいとお願いと…

詳しくはこちらの動画を  
ご覧ください

